

1 取組の概要

第1部「戦争と平和」

第2部「今、地球は」

第3部「生命」

さまざまな実習・体験活動を盛り込みながら、自分が生きていることの意味や地球の過去と未来について学んでいる。また、「ラベルワーク」という手法を用いることによって、問題を様々な角度から客観的にとらえ自ら考え行動しようとする能力を養うようにしている。発表会では、その集大成として、パワーポイントを用いたプレゼンテーション等を生徒達自身で行う。

第1部の「戦争と平和」では、太平洋戦争をテーマに「戦争とは平和とは」について考察し、その集大成としてハワイ研修旅行を実施する。

第2部の「今、地球は」では、環境問題、エネルギー問題についての実験・考察を行う。これまでの取り組みとしてエコクッキングを心がけた調理実習、全校生徒で取り組んだ「マイ箸週間」、学校周辺地域の清掃活動などがある。

第3部の「生命」では、沐浴実習・高齢者との交流・心肺蘇生法実習・保育実習と様々な自習を通して、人間が生まれてから老いていくまでを考えながら生命の尊さを学んでいる。

2 本実践事例について

(1) 本事例実施の背景・これまでの取組

以前は、外部講師を招いてエコクッキングの講義及び実習を行っていた。講義や実習から得るものは多くあったが、生徒が受け身になるという欠点もあった。数年前から基礎知識についてDVD教材を用いて学習した後、実際に献立作成から後片付けまでを自分たちで計画し、実践している。授業では毎回感想を一文にまとめた「ラベル」を作成し、まとめの授業では作成した「ラベル」をもとに、自分たちが普段実践できることや、家族や周りの人たちに伝える方法などを自分たちで考えている。そして、一年の学習の集大成である学習発表会で発表を行っている。

(2) 指導のポイント

- ☆ 調理実習計画を立てるとき、誰でも継続的に取り組めるような調理方法であることや、経済的な問題と環境問題の関連について意識させる。（付けさせたい力1・3）
- ☆ エコクッキングや「マイ箸」持参など、自分たちでできる身近な環境対策を実践することで、今後も継続して主体的に取り組むことができることを意識させる。（付けさせたい力1・3）
- ☆ 「ラベルワーク」という手法を用いることによって、問題を様々な角度から客観的にとらえ、自ら考え行動する能力を養う。（付けさせたい力2・3）

3 学習指導案

◎本時の授業…

「エコクッキング」の実習計画を立てる

(1) 本時のねらい

環境を意識した，実習計画を自分たちで考案する。

(2) 対象学年 第3学年

	学習活動	指導上の留意点	評価
課題把握	献立だけでなく，準備（買い物）から後片付けまでの一連の計画をすべて立てる。	ゴミを出さない・材料をむだなく使うことを意識させて，計画を立てさせる。	環境の保全と経済活動の関連を意識して考察することができる。
自力解決	献立をもとに，一連の計画を各自で立てる。		
集団解決	各自で立てた計画をもとに，班での計画を立てる。役割分担及びタイムテーブルを明確にする。環境を意識した部分を全員で把握して，実習当日に実行できるように準備する。	計画のどの部分が環境を意識したところかを，班全員が理解した上で実習に入れるようにする。	協同的かつ責任を持った実習手順が組まれている。
まとめ	実習終了後に，ラベル新聞を作成する。	実習後に，ラベルを書かせることによって，環境を意識したところを明確にさせる。	一人ひとりのラベルについての共通理解と考察がなされ，実習の目的がラベル新聞によって表現できている。

4 生徒の反応（授業後の感想等）

にんじんを皮ごと調理するなど，ゴミがほとんどでない工夫をすることの大切さがわかった。

水をためてから食器を洗えば，水が無駄にならないなど，ちょっとした工夫が環境によいことを実感できた。

